

A2705-M 型 Mr.Gamma-Box+P の特長

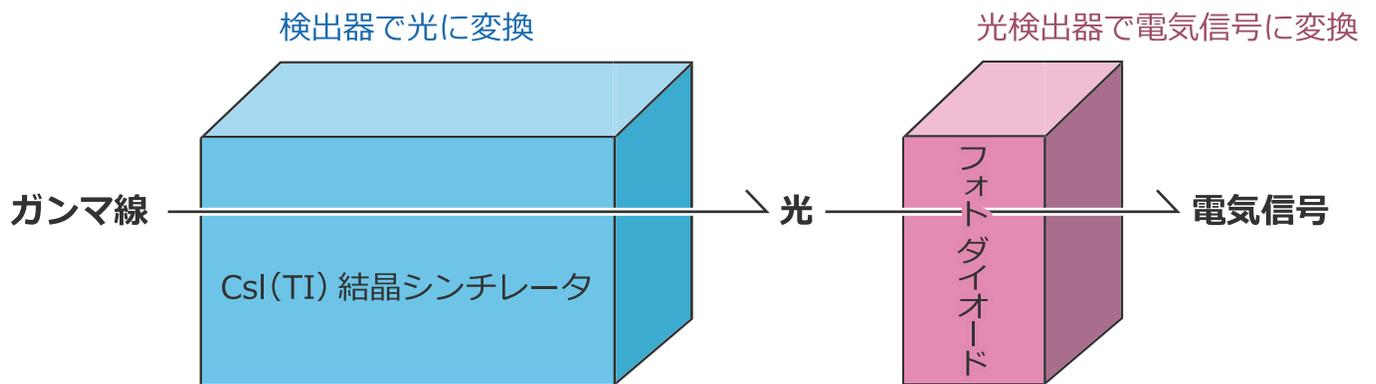
自然界に存在する弱い放射線を測定する測定器です。

自然界の放射線には α (アルファ)線、 β (ベータ)線、 γ (ガンマ)線、中性子などがありますが、この製品は「 γ (ガンマ)線」を測定します。ガンマ線はエネルギーによって人体に与える影響が異なるので放射線1つずつのエネルギーを線量当量に変換する計算を行い、**放射線の数だけを数えるだけよりも性格な線量率を表示することができます。**

●エネルギースペクトルを測定するとセシウムやヨウ素など放射性物質の種類を分析することができます。

測定原理の簡単な解説

放射線が検出器に1つ入るごとに光に変換し、光検出器により電気信号に変換します。



信号の大きさによってガンマ線のエネルギーを区別し、線量当量を計算します。

測定値の見方

測定値は1時間あたりの線量率です。単位はマイクロシーベルト毎時($\mu\text{Sv/h}$)

例： $0.1\mu\text{Sv/h}$ を1年間受けた場合

$0.1 \times 24 \times 365 = 876\mu\text{Sv/年} = 0.876\text{mSv/年}$ (合計の数値が年間被ばく線量になります)

※「 1mSv/h 」は「 $1,000\mu\text{Sv/h}$ 」と同じです。

A2705-M 型 Mr.Gamma-Box+P 測定器の出力

